※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１９

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の地理総合」（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	高校生の地理総合ノート（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

持続可能な社会づくりを目指し，環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察する科目です。生活圏の地理的課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察し、表現する力を養います。日々の授業に積極的に取り組むと同時に，インターネットなどを活用し、自ら調べ、自ら学び、自ら考察する力を培って下さい。

２　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○社会的事象等に関する理解などを図るための知識と社会的事象等について調べ，まとめる技能を身につけている。	○社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察する力，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて構想する力や，考察したことや構想したことを説明する力，それらを基に議論する力を身につけている。	○主体的に学習に取り組む態度と，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情などとして，それぞれ校種の段階や分野・科目ごとの内容に応じて整理することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	地図や地理情報システムでとらえる現代世界	１章 地図や地理情報システムと現代世界	a：地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて，地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や，地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 b：各種の地図にはどのような特徴があるのかや，地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査	準拠ノート	準拠ノート
		2 章 結びつきを深める現代世界	a：世界を構成する国家の領域の定め方，地図を通して世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴を理解している。国家の領域や世界の国々の結びつき，交通，通信，人の移動の特徴を見いだすための，読図の技能を身につけている。 b：国家の領域はどのように定められており，どのような領土問題があるのかや，世界の国々はどのように結びついており，どのような交通，通信，人の移動の特徴があるのかについて，地図を通して多面的・多角的に考察し，表現している。 c：国家の領域の定め方や領土問題，世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴について，地図を通して主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査 レポート	レポート	準拠ノート レポート

※令和４年度以降入学生用

	国際理解と国際協力	１章 生活文化の多様性と国際理解	a：世界の多様な生活文化が，自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。世界の生活文化の多様性の背景となるものや，世界の生活文化の相互関係を見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b：地形や気候，産業とその発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：世界の多様な生活文化を尊重し，共生を図っていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査 レポート	レポート 課題発表	準拠ノート レポート 課題発表
2	事例から学ぶ	事例２ 他地域との結びつきが生活文化に与えてきた影響　-東南アジア- 事例10 結びつきの変化がもたらす生活文化への影響 -オセアニア-	a：自然環境や歴史，技術的進歩が農業や人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。外国との結びつきが深まるのに伴い，人々の生活が変化してきたことについて理解している。 b：他地域との関わり方の変化や，都市部での生活に着目しながら，経済発展により人々の生活がどのように変化してきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。気候や農業に着目しながら，伝統的な生活や食文化と，移民によってもたらされた生活と食文化がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：海上交易や植民地支配といった歴史を背景に，宗教や民族の多様性が育まれてきたことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。新たな地域との交流が深まることで，人々の生活や国の産業が変化してきたことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査 レポート	レポート	準拠ノート レポート

※令和４年度以降入学生用

	国際理解と国際協力	2章 地球的課題と国際協力 ・人口問題 ・食糧問題 ・都市居住問題	a：地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b：地球的課題がどこで，どのように生じているのかや，解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査 レポート	レポート 課題発表	準拠ノート レポート 課題発表
		2章 地球的課題と国際協力 ・感染症、衛生問題 ・資源エネルギー問題 ・地球環境問題	a：地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b：地球的課題がどこで，どのように生じているのかや，解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査 レポート 定期考査	レポート 準拠ノート	準拠ノート レポート 準拠ノート

※令和４年度以降入学生用

	持続可能な地域づくりと私たち	1章　自然環境と防災 ・日本の自然環境 ・地震・津波や火山活動による災害と防災	a：自然災害が生じる場所と要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。自然災害の発生場所や要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b：どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや，日本の自然災害にはどのような特徴があるのか，どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：自然環境には災害と恩恵の両側面があり，人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査	準拠ノート	準拠ノート

※令和４年度以降入学生用

3	持続可能な地域づくりと私たち	1章　自然環境と防災 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え	a: 自然災害が生じる場所と要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。自然災害の発生場所や要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b: どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや，日本の自然災害にはどのような特徴があるのか，どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 自然環境には災害と恩恵の両側面があり，人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査	準拠ノート 課題発表	準拠ノート 課題発表
		2章 生活圏の調査と地域の展望	a 生活圏の調査にあたって，仮説の立て方や調査結果の検証の方法，発表のしかたを理解している。 生活圏の調査にあたって，仮説の立て方や調査結果の検証の方法，発表のしかたについての技能を身につけている。: b: 事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや，現地調査の結果をどのように分析・整理するのか，他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 生活圏の調査の結果を地域に還元し，よりよい社会を築いていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査 レポート	レポート 振り返りシート	準拠ノート レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度